

ShinEtsu

信越ポリマー株式会社

第61期 報告書

2020年4月1日~2021年3月31日



ShinEtsu
Shin-Etsu Polymer Co., Ltd.

証券コード:7970



代表取締役社長
社長執行役員
小野 義昭

いかなる経済環境にあっても、
当社独自の技術力により、
企業基盤のさらなる強化を推し進め、
持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ここに、当社グループの第61期連結会計年度（2020年4月1日から2021年3月31日まで）の事業の概況等をご報告申し上げます。

当連結会計年度の業績は、売上高769億4百万円（前期比4.2%減）、営業利益72億17百万円（前期比6.9%減）、経常利益70億21百万円（前期比13.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益45億36百万円（前期比27.9%減）となりました。

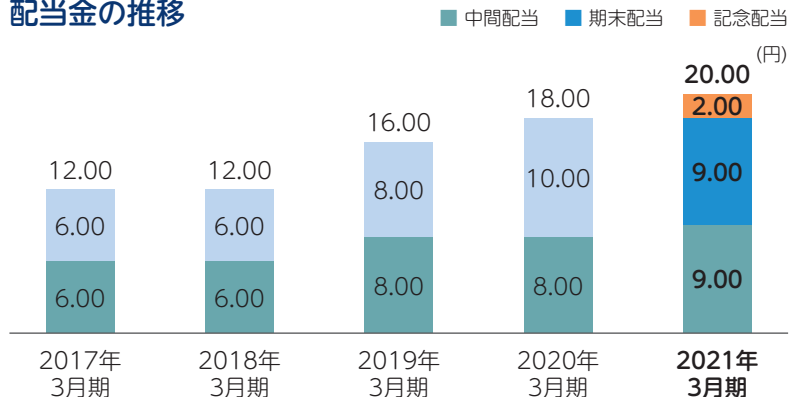
当期の期末配当金につきましては、業績と今後の事業展開等を総合的に勘案し、1株につき11円とさせていただきますたく存じます。なお、期末配当金11円のうち2円は、創立60周年記念配当金でございます。

これにより、中間配当金9円を加えた年間配当金は、1株につき20円となり、前期と比較して2円の増配となります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2021年6月

配当金の推移



事業の概況

当連結会計年度における世界経済は、長期化する米中貿易摩擦による影響に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため各国が実施した渡航禁止や都市封鎖等により、経済活動が大きく停滞しました。新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、回復のペースは緩やかなものに留まっています。米国では、都市封鎖解除後に雇用が回復し個人消費も持ち直しました。欧州では生産及び輸出が4月を底に回復基調にありましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を止められず、再び経済活動が停滞しました。アジアでは世界に先駆けて経済活動を再開した中国で経済の回復が持続しました。

日本経済は、5月の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言解除後は個人消費、生産及び輸出とも持ち直しましたが、企業の設備投資が弱含む等、本格的な回復までには時間がかかる見通しです。

当社グループ関連の事業環境につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による半導体業界や電子部品業界の需要の落ち込みはほとんどなかったものの、自動車関連分野の需要が低迷し、全体として軟調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは新型コロナウイルス感染症対策をとるとともに、国内外において主力製品及び新規事業製品の拡販に注力した営業活動を継続的に展開し、生産・供給体制の拡充を図ってまいりました。

今後につきましては、国内外の既存事業領域の拡大や、その周辺事業領域を含めた領域での新事業創出に優先的に対処してまいります。

まず、既存事業領域においては、伸びる市場に照準を合わせた製品開発、徹底した品質管理、販売力強化及び新規顧客開拓に努め、更なる成長を目指します。

次に、中長期にわたる成長を継続するために、既存事業領域やその周辺事業領域、成長を望める分野における新事業創出が、喫緊の課題であります。

当社の基盤技術をより強化し、スピード感のある開発によって、新規テーマの発掘と、特に自動車・半導体分野における次世代の事業拡大に鋭意取り組んでまいります。

M&A（合併・買収）については、収益拡大と新事業創出の手段として引き続き実行してまいります。

また、コンプライアンス、CSRを基本とした経営を推し進め、コーポレートガバナンスの充実を図るとともに地球環境保全への貢献、人権尊重、安全第一への取り組みを強化し、企業価値の向上に努めます。

なお、当社グループは、国内外に生産拠点、販売拠点を持ち、従前から必要なりスク管理を行っております。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対しても、適切な対応を進めてまいりました。今後も引き続き現地の行政当局の指示・指導に従いながら、従業員の安全を第一に対応してまいります。

連結業績ハイライト

売上高

76,904百万円

営業利益

7,217百万円

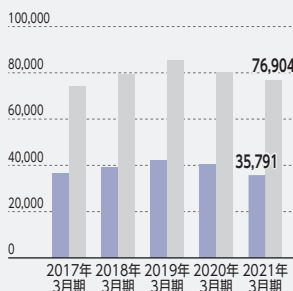
経常利益

7,021百万円

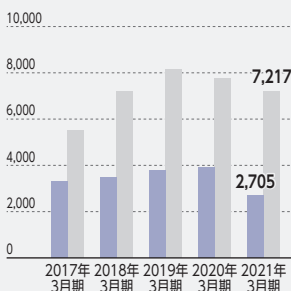
親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益

4,536百万円

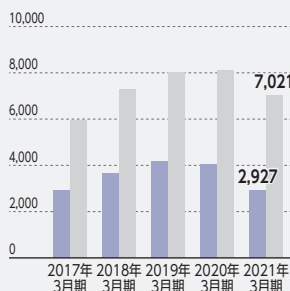
■第2四半期 ■通期 (単位: 百万円)



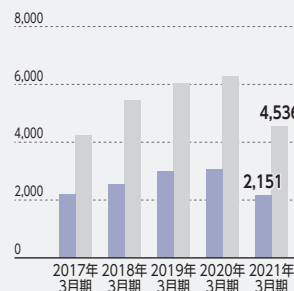
■第2四半期 ■通期 (単位: 百万円)



■第2四半期 ■通期 (単位: 百万円)



■第2四半期 ■通期 (単位: 百万円)



業績についての詳細はこちらもご覧ください

⇒ <https://www.shinpoly.co.jp/ja/ir/finance/highlight.html>

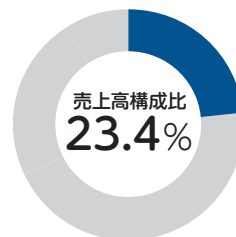


電子デバイス事業

売上高
18,037百万円
(前期比8.6%減)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による自動車業界の需要低迷等により、自動車関連入力デバイスを中心に出荷が低調に推移し、全体として売上げは前年度を下回りました。

この結果、当事業の売上高は180億37百万円（前期比8.6%減）、営業利益は8億89百万円（前期比45.9%減）となりました。

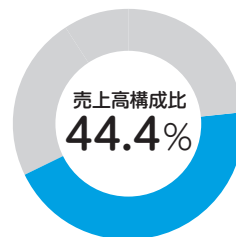


精密成形品事業

売上高
34,160百万円
(前期比2.1%増)

半導体関連容器やキャリアテープ関連製品の堅調な出荷が続きましたが、全体として売上げは前年度並みとなりました。

この結果、当事業の売上高は341億60百万円（前期比2.1%増）、営業利益は55億17百万円（前期比7.6%増）となりました。

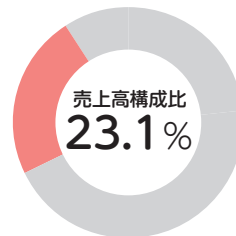


住環境・生活資材事業

売上高
17,736百万円
(前期比6.7%減)

塩ビ関連製品の市場環境が非常に厳しい中、価格改定や生産効率化に努め、新規事業製品の拡販を推し進めましたが、食品包装資材や建設資材、自動車関連の素材系製品が需要低迷の影響を受けて、全体として売上げは前年度を下回りました。

この結果、当事業の売上高は177億36百万円（前期比6.7%減）、営業利益は5億39百万円（前期比6.2%増）となりました。

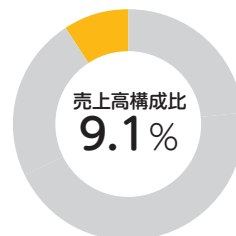


その他

売上高
6,969百万円
(前期比13.6%減)

工事関連では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による需要低迷の影響により、首都圏を中心に商業施設の新築・改装物件、公共施設の内装物件の受注が減少し、全体として、売上げは前年度を下回りました。

この結果、その他の売上高は69億69百万円（前期比13.6%減）、営業利益は2億72百万円（前期比43.2%減）となりました。



連結財務諸表の概況

ポイント

- ◆ 総資産は、たな卸資産などが減少しましたが、現金及び預金、建設仮勘定及び未収入金が増加したことなどにより、前期末と比較して28億34百万円増の1,082億12百万円となりました。
純資産は、円高により為替換算調整定が減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前期末と比較して21億39百万円増の866億77百万円となりました。
- ◆ 当期末の現金及び現金同等物の残高は前期末と比較して42億72百万円増加し、459億48百万円となりました。
営業活動によるキャッシュ・フロー（以下CF）は、たな卸資産の減少や仕入債務の増加などにより106億41百万円の収入、投資活動によるCFは、主に設備投資により37億36百万円の支出、財務活動によるCFは、主に配当金の支払により16億91百万円の支出となりました。
なお、フリー・キャッシュ・フローは69億5百万円の増加となりました。

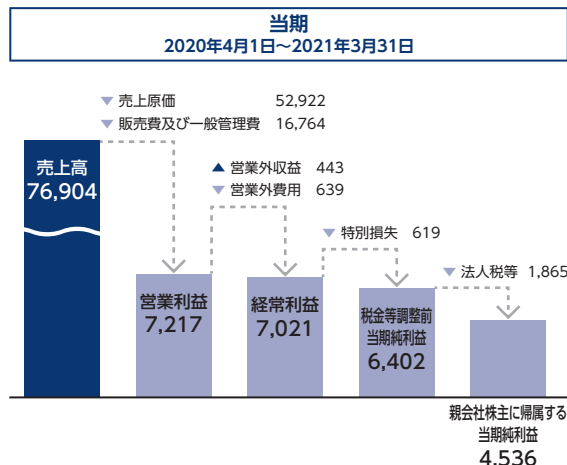
連結貸借対照表の概要

(百万円)



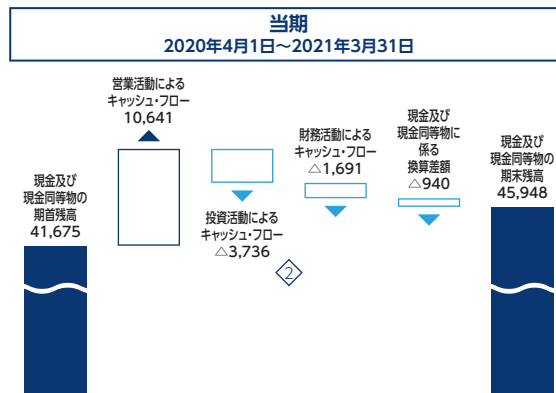
連結損益計算書の概要

(百万円)



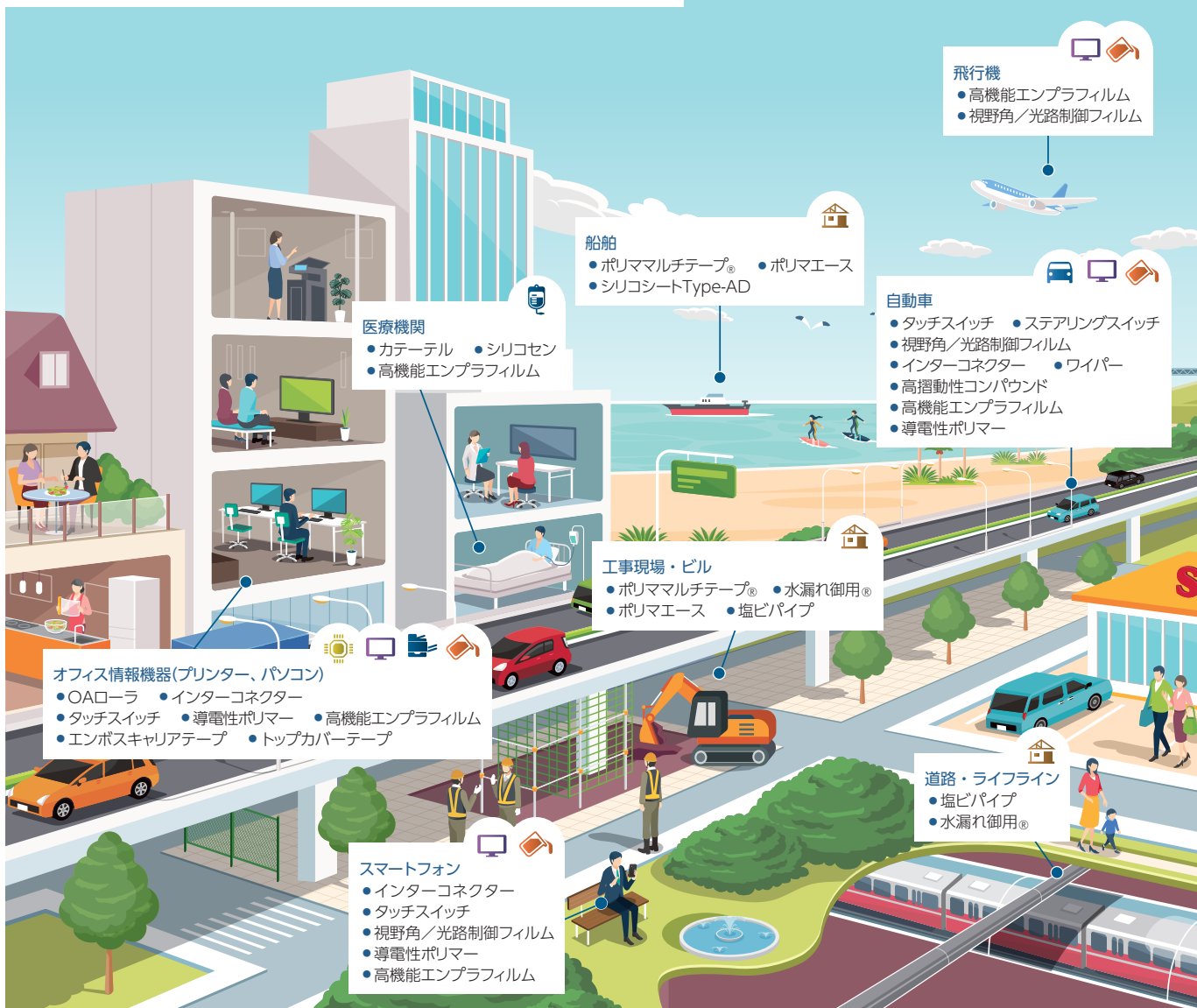
連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



【特集】こんなところに信越ポリマーの製品

信越ポリマーは、長年にわたり培った技術力を活かした各種製品で、暮らしと産業を支えています



飛行機

- 高性能エンブラフィルム
- 視野角/光路制御フィルム

船舶

- ポリママルチテープ®
- シリコシートType-AD
- ポリマエース

医療機関

- カテーテル
- シリコセン
- 高性能エンブラフィルム

自動車

- タッチスイッチ
- ステアリングスイッチ
- 視野角/光路制御フィルム
- インターコネクター
- ワイパー
- 高摺動性コンパウンド
- 高性能エンブラフィルム
- 導電性ポリマー

工事現場・ビル

- ポリママルチテープ®
- 水漏れ御用®
- ポリマエース
- 塩ビパイプ

オフィス情報機器(プリンター、パソコン)

- OAローラ
- インターコネクター
- タッチスイッチ
- 導電性ポリマー
- 高性能エンブラフィルム
- エンボスキャリアテープ
- トップカバーテープ

スマートフォン

- インターコネクター
- タッチスイッチ
- 視野角/光路制御フィルム
- 導電性ポリマー
- 高性能エンブラフィルム

道路・ライフライン

- 塩ビパイプ
- 水漏れ御用®



トピックス

当社初の「リモート接客」にて、 【第9回高機能プラスチック展2020】に出展

2020年12月に幕張メッセで開催された世界最先端のプラスチック産業展「第9回高機能プラスチック展2020」に出展いたしました。新型コロナウイルス感染症対策として、展示会場と当社をオンラインでつないだ当社初の「リモート接客」にて製品説明を行いました。陳列棚センサシステム等のフィルムセンサや粘着ゴム等のシリコン加工品のほか、高機能プラスチックフィルム、導電性ポリマーといった素材製品まで、当社の基盤技術を応用・融合・発展させた幅広い製品をPRし、多くのお客様に関心をお寄せいただきました。今後も顧客ニーズを迅速かつ的確に捉え、積極的な拡販施策を実施してまいります。



製品毎にタブレット端末を設置し、リモート説明員がお客様対応

株主アンケート結果報告

第61期第2四半期報告書においてお願いいたしました「株主アンケート」に多くの株主の皆様からのご回答を頂戴いたしました。心から御礼申し上げます。株主の皆様からいただきましたご意見・ご助言を真摯に受け止め、今後の事業運営や本報告書のさらなる充実活かしにまいります。

皆様のご意見・ご感想に関する当社の回答



SDGsの取り組みについて説明してほしい。



ご意見いただきましてありがとうございます。当社グループでは、製品開発を通じてSDGsへの取り組みを進めております。一例として、プラスチックごみの削減と作業負担軽減に貢献する、“自然にやさしい”生分解性プラスチック製品をご紹介します。

くん蒸シート

目標15 陸の豊かさも守ろう
SDGs:169ターゲット [15.1]

害虫による病害から松林を守るため、松の被害木に生息する松くい虫の駆除に使用するシートです。

シートには土に戻る生分解性素材を採用し、他社品よりも薄肉化したことによって原料の省資源化と、ごみの排出量の削減に成功した環境配慮型の製品です。



*SDGs：2030年までに、持続可能な社会の実現を目指し、17の目標・169のターゲットから構成された国際目標です。

その他SDGsの達成に貢献している当社グループの製品については、サステナビリティレポート2020に掲載しています。当社ホームページからもご覧いただけますので、右記のQRコード等をご利用ください。



<https://www.shinpoly.co.jp/ja/environment/report.html>

会社の概況 (2021年3月31日現在)

商号	信越ポリマー株式会社 (Shin-Etsu Polymer Co., Ltd.)
本社所在地	東京都千代田区神田須田町一丁目9番地
設立年月日	1960年9月15日
資本金	11,635,953,759円
従業員数	996名(連結5,089名)
事業所 支店・営業所	大阪支店、名古屋支店、福岡支店、 仙台営業所、広島営業所、札幌営業所
工場	東京工場、児玉工場(以上、埼玉県)、 南陽工場(山口県)、塩尻工場、 長野分工場(以上、長野県)、 糸魚川工場(新潟県)

株式の状況	
発行可能株式総数	320,000,000株
発行済株式総数	82,623,376株
株主数	9,001名

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせたいため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 7970

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を差し上げていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media)についての詳細 <https://www.a2media.co.jp>
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

- アンケートのお問合せ
[e-株主リサーチ事務局] MAIL:info@e-kabunushi.com

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告(https://www.shinpoly.co.jp/) なお、やむを得ない事由によって、電子公告 によることができない場合には、日本経済新聞 に掲載して行います。

株式に関するお手続き

	証券会社等に口座を お持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物 送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続 お取扱店 (住所変更、 株主配当金 受取方法 の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 *トラストラウンジでは、お取扱 できませんのでご了承ください。 みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店 ブラネットブース(株式会社み ずほ銀行内の店舗)でもお取扱 いたします。
未払配当金 のお支払	みずほ信託銀行株式会社 株式会社みずほ銀行	本店及び全国各支店 本店及び全国各支店 (みずほ証券株式会社では、取次のみとなります。)
ご注意	支払明細発行については、 右の「特別口座の場合」 の郵便物送付先・電話お 問合せ先・各種手続お取 扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買 取・買増以外の株式売買はできませ ん。証券会社等に口座を開設し、株 式の振替手続を行っていただく必要 があります。

単元未満株式買増・買取のご案内

当社では、単元未満株式(1株から99株まで)の買増制度・買取制度を導入しておりますので、ご利用ください。
お手続の詳細は、上記記載のお取扱店にお問い合わせください。

信越ポリマー株式会社

〒101-0041

東京都千代田区神田須田町1-9

電話 (03) 5289-3712

ホームページアドレス <https://www.shinpoly.co.jp/>

